

エグゼクティブサマリー

グローバル市場における サウンドデザイン受容性をどう判断するか —聴感評価データにもとづく意思決定のために

本資料は、グローバル市場におけるサウンドデザインの受容性を、定量的かつ横断的に評価する新たな枠組み「グローバル聴感評価ベンチマーク」を紹介するものです。



製品やブランドを象徴するサウンドは、グローバル展開において重要な戦略要素である一方、文化や価値観の異なる市場でどのように受け取られるかを、事前に共通の指標で検証する手段は限られていました。

Sound One プラットフォームは、世界約 270 万人規模の評価パネルを活用し、属性を指定した聴感評価を短期間で実施することで、この課題に応えます。企業は、サウンドデザインの国際的な受容性をデータとして把握し、ブランド戦略や製品設計における意思決定の確度を高めることができます。

本プラットフォームでは、企業の検討フェーズに応じて、以下の 2 つのアプローチを選択することができます。

一つは、既存の分析レポートを通じて市場理解を深めるアプローチです。EV 接近通報音(AVAS)を題材に、主要 5 市場(日・米・独・中・印)の評価を比較することで、音の受け取られ方や重視される価値が国によって大きく異なることを整理しています。感性評価と音の物理的特性との関係も含め、グローバル市場を俯瞰するための外部知見として活用できます。

もう一つは、自社の音源を対象とした聴感評価を直接実施するアプローチです。評価対象音源、調査国、パネル属性、評価軸を柔軟に設計し、グローバル市場における自社サウンドの受容性を具体的に検証します。これにより、「自社の音は世界でどう評価されるのか」という問いに、定量データをもって答えることが可能になります。

本サマリーは、分析レポートを起点として段階的に検討を進めるか、あるいは即座に自社課題に即した評価へ進むか、その判断を行うための全体像を提示することを意図しています。

分析レポートのサンプルとして一部を [note](#) に公開しています
https://note.com/sound_one/n/n81c597bcc473



2026.1.13 作成